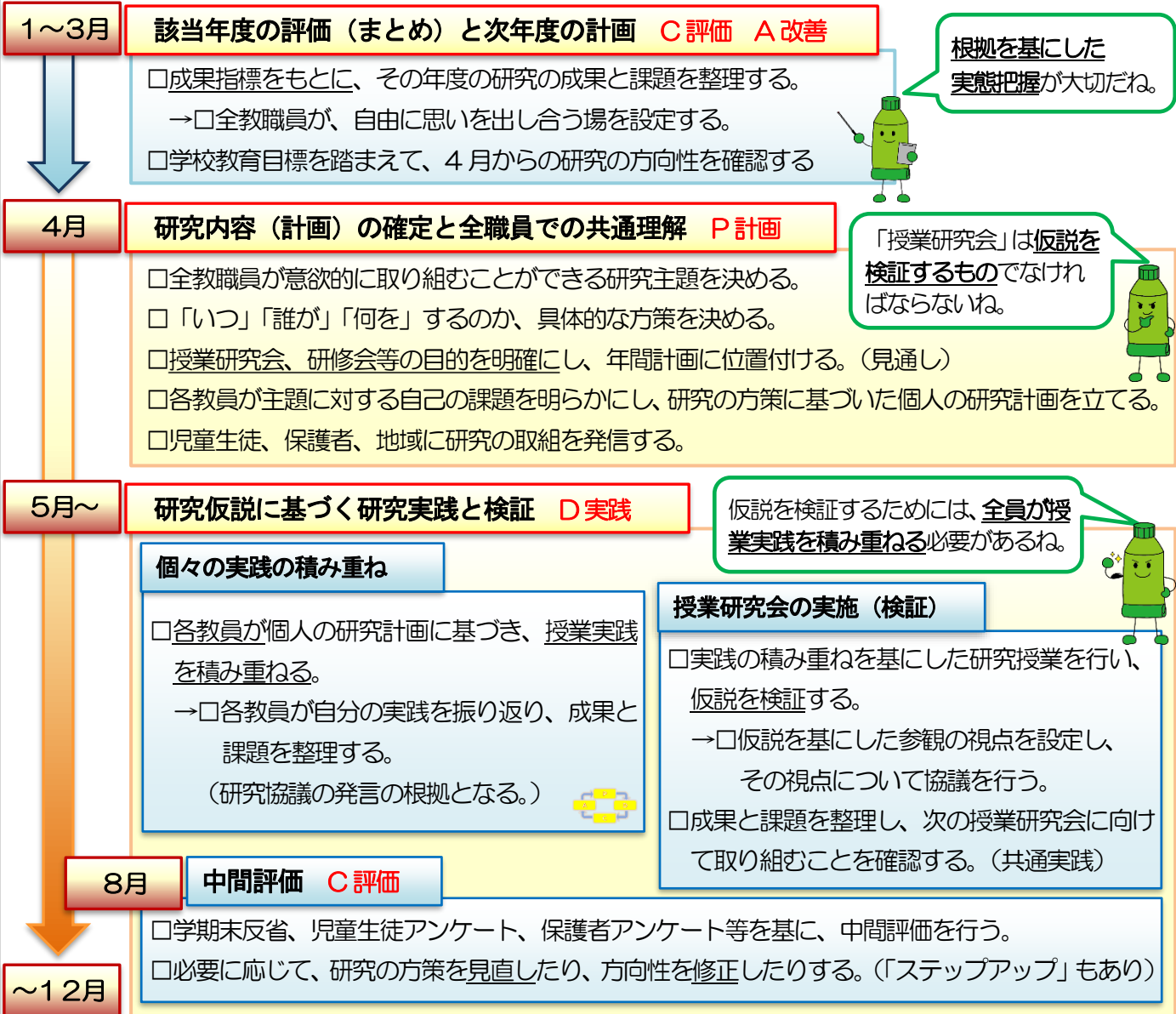




確かな学力の向上をめざして【12月】

■校内研究の充実に向けて ～来年度に向けて流れを再確認～

校内研究は、「教師の授業力向上」、「児童生徒の学力の向上」、「学校の教育力向上」を目指して行います。来年度の研究を充実させるためには、今年度のうちに計画に取り掛かることが必要です。どの時期に何に取り組むのか、流れとポイントを再確認しましょう。



根拠を基にした実態把握が大切だね。



「授業研究会」は仮説を検証するものでなければならぬ。



仮説を検証するためには、全員が授業実践を積み重ねる必要があるね。



Point PDCAサイクルをどのように回すか

校内研究の充実のためには、学校全体のPDCAサイクルだけでなく、各個人の授業改善のPDCAサイクルを何度も回すことが必要です。そのためには、管理職、研究主任等による次の取組が重要です。

- 研究成果が、日常の実践に生かされているか確認する。
- 研究だより等で、取組状況や、研究の方向性を確認する。

研究は、生き物です。世話をしなければ育ちません。全職員が研究に関わり、育て、できた「実」を子どもたちに返していきましょう。

